

# 洋風便器 (床上排水)

防露便器

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

## 注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書（ヒーター付便器の場合）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

## 安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。  
 施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

### 用語の説明

**警告** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

**注意** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

## 警告

本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。  
 ※ 感電・火災の恐れがあります。 (100V 電源使用の場合)  水かけ禁止

修理技術者以外の方は、分解したり修理・改造は行わないでください。  
 ※ 感電・火災・ケガの原因になります。 (100V 電源使用の場合)  分解禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。  
 ※ 感電の原因になります。 (100V 電源使用の場合)  ぬれ手禁止

バスルーム内など湿気が多い場所には、設置しないでください。  
 ※ 感電・火災の原因となります。 (100V 電源使用の場合)  水場使用禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。  
 ※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。 (100V 電源使用の場合)  禁止

ガタついているコンセントは使用しないでください。  
 ※ 感電・火災の原因になります。 (100V 電源使用の場合)  禁止

● 交流 100V 以外では使用しないでください。  
 ● タコ足配線など定格をこえる使い方はしないでください。  
 ※ 火災の原因となります。 (100V 電源使用の場合)  禁止

電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。  
 ※ 感電・火災の原因になります。 (100V 電源使用の場合)  指示実行

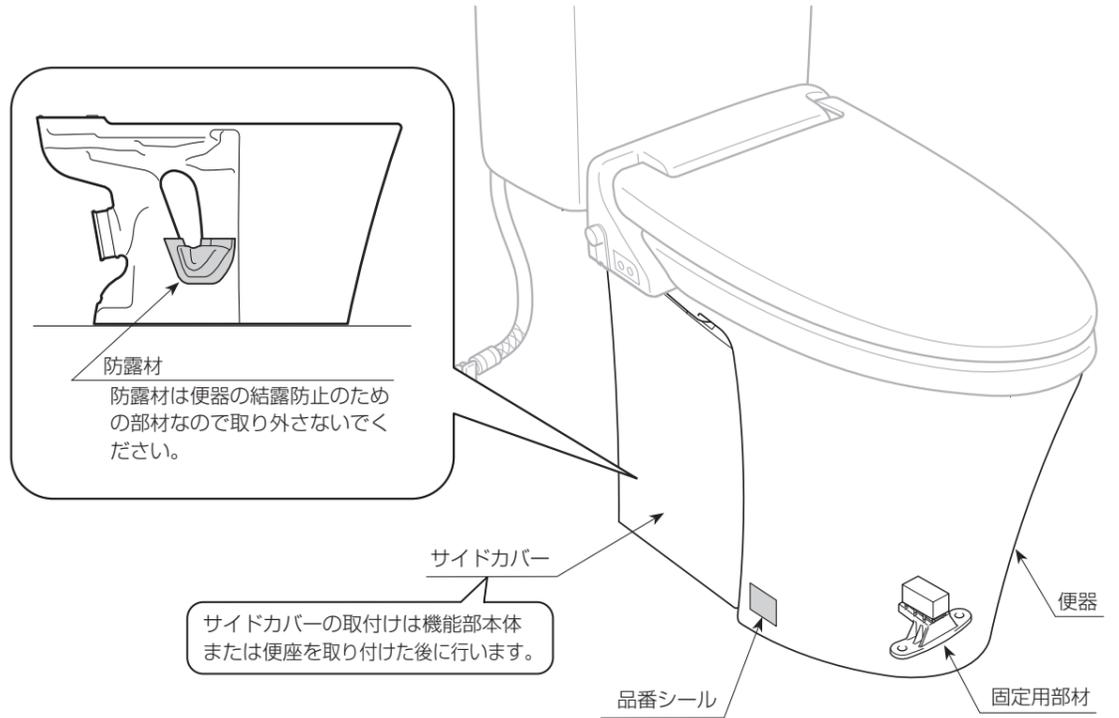
## 注意

陶器は割れものです。  
 ● 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。  
 ● 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。  
 ※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。  指示実行

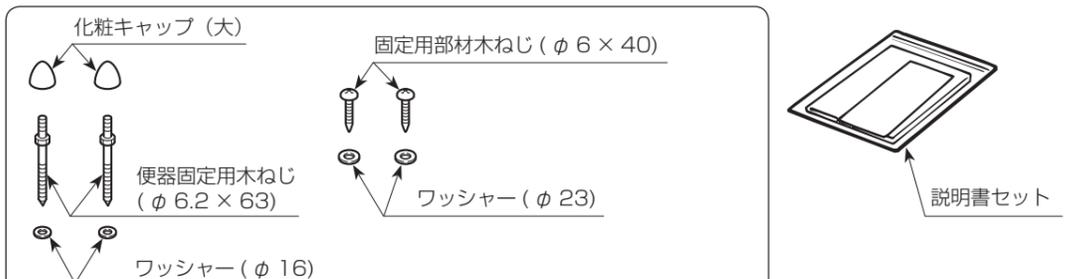
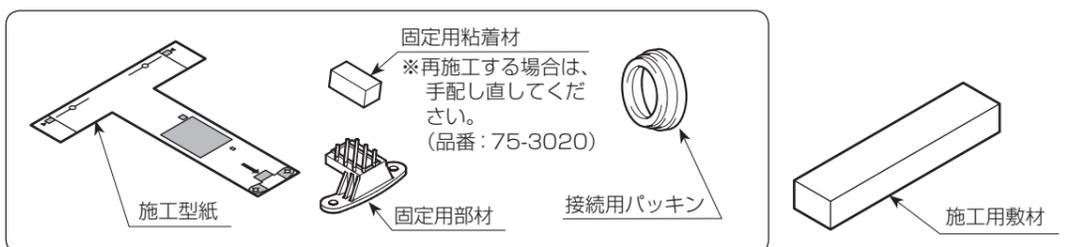
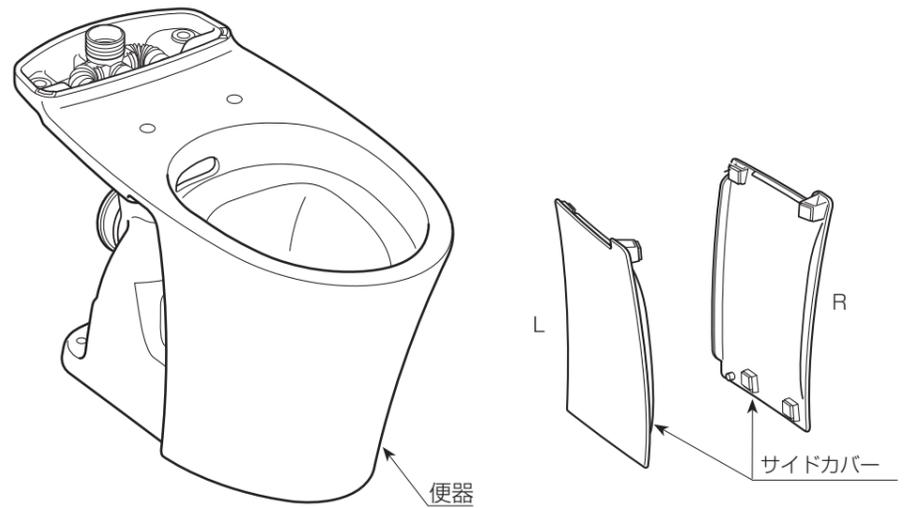
止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。  
 ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。  指示実行

お客さまにお渡りするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。  
 ※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。  指示実行

## 各部のなまえ



## 部品の確認 (梱包内容を確認してください。)

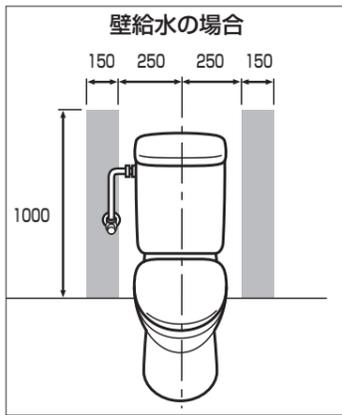


※ 床がタイルまたはコンクリートの場合は、AY ボルト (AY-55D:2本, AY-23W:2本) を別途手配してください。

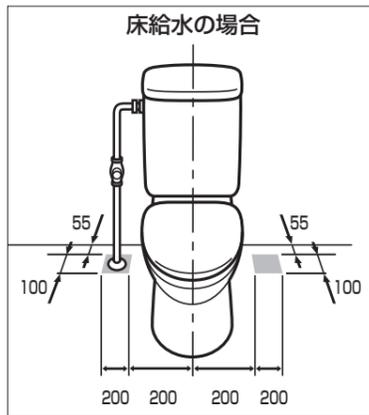
# 施工方法

## 1 給水位置の確認

対応できる給水範囲は、下記ようになります。



注意 1 参照



注意 1 参照



注意 1 参照

注意 2 参照

同梱の止水栓を使用します。

止水栓の向きは、接続時にホースが折れないように調節してください。

既存の止水栓は使用できません。

取替止水栓 (別途手配) が必要です。

取替止水栓 (TF-3892ER)



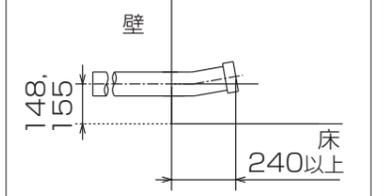
### 注意 1

給水位置が [ ] 以外の場合、給水位置の変更が必要です。

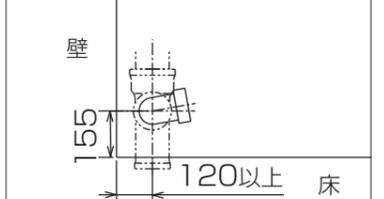
### 注意 2

給水位置が壁給水で便器後方にある場合、後抜きタイプで排水管の出寸法が 240mm 以上、横抜きタイプで立管中心から壁までの寸法が 120mm 以上必要となります。上記の寸法を満たさない場合は、給水位置の変更が必要となります。

#### 後抜きタイプ



#### 横抜きタイプ



## 2 排水高さの確認

排水高さが

後抜きタイプの場合 : 148mm 155mm 参考 1 参照

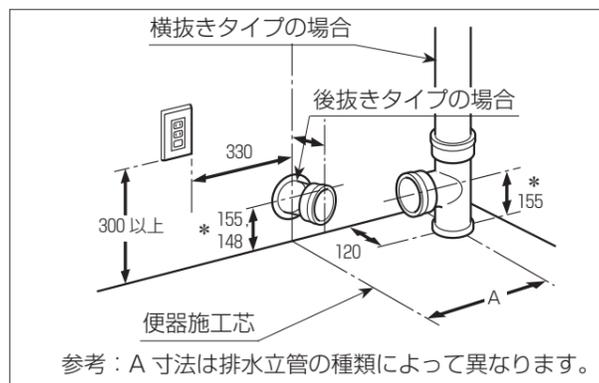
横抜きタイプの場合 : 155mm

であることを確認します。

注意 2 参照

注意 3 参照

注意 4 参照



参考 : A 寸法は排水立管の種類によって異なります。

### 注意 3

便器を取り付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ (LF-7T を推奨)、排水管にはビニール袋等でカバーをしてください。

### 注意 4

防震シート (CF-42G) を使用する場合は、図中の \* 寸法が 5mm 大きくなります。

### 注意 5

新設で横抜きタイプの場合は、バンド管 (CF-11B)、後抜きタイプの場合は排水管 (CF-11S) を別途用意してください。

### 参考 1

便器前出寸法 760mm (後抜きのみ) に抑えたい場合は、市販の排水接続管先端を壁から 210mm にして施工してください。

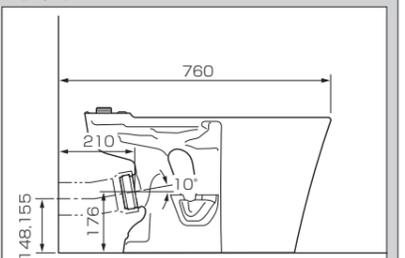
・上記寸法以下になると、機能部本体またはタンクと後ろ壁とが干渉する恐れがあります。

・排水芯高さが後ろ抜き 155mm の場合は、市販の排水接続管の使用が必須です。(銅管は不可)

・市販の接続管を使用する場合は市販の接続管の施工方法もご確認の上、施工ください。

・排水経路が逆勾配にならないようにご注意ください。

・市販の排水接続管の種類によっては接続用パッキンが不要場合があります。



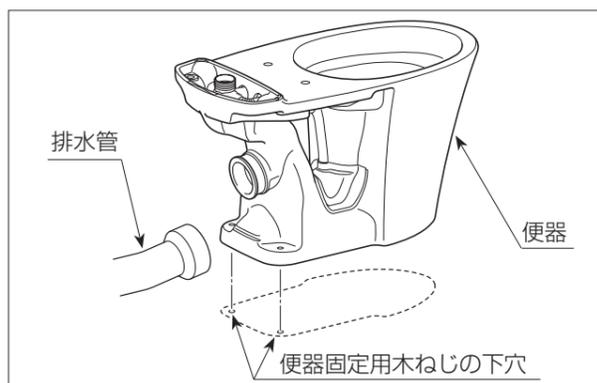
防火区画の場合は市販の排水接続管に耐火被覆材で覆うなどの処置が必要です。

## 3 便器の仮据え

(1) 排水管に便器を仮接続して便器の位置決めをします。 注意 5 参照

(2) 便器固定用木ねじの下穴をあけます。

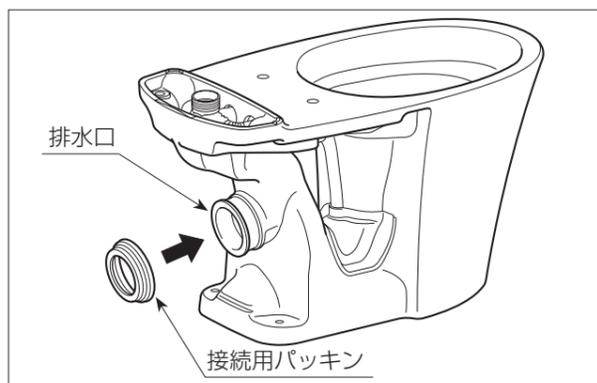
床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴 (径 11、深さ 70) をあけ、別売の AY ボルト (AY-55D) を使用します。



## 4 接続用パッキンの取付け

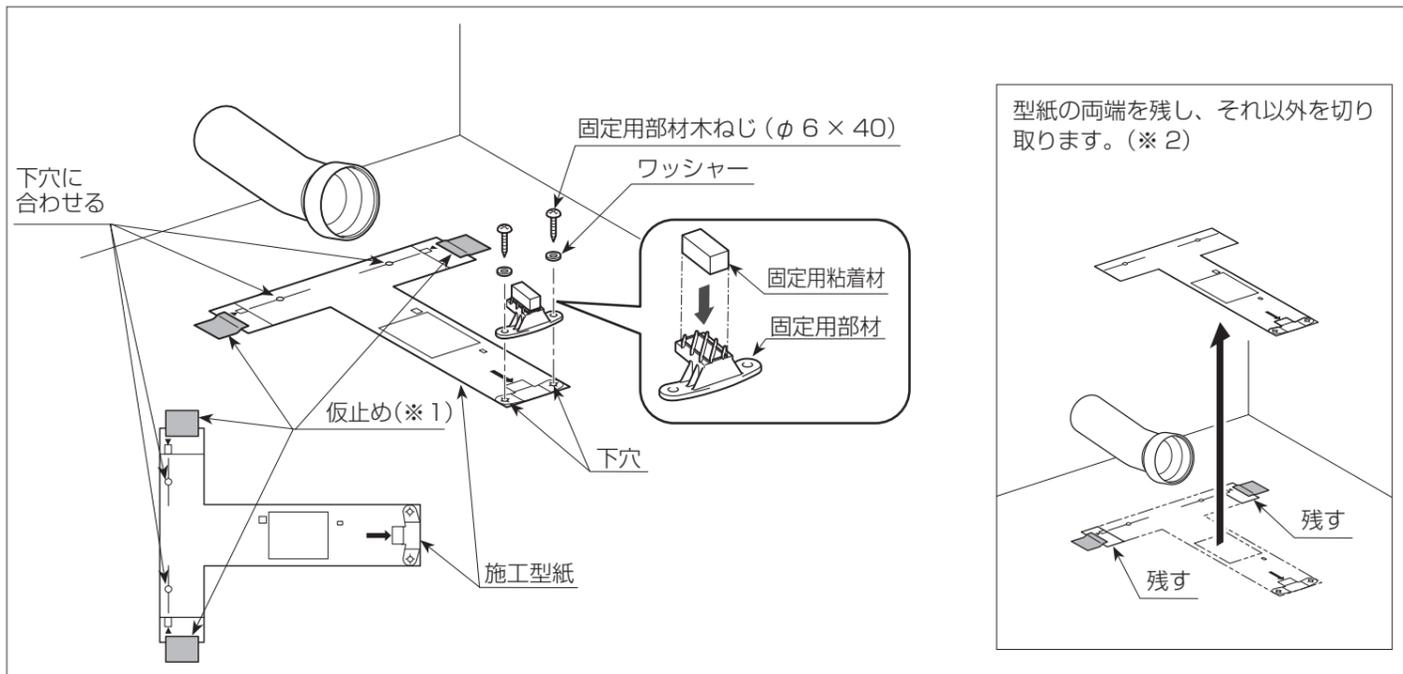
便器の排水口に接続用パッキンを取り付けます。

参考 1 参照



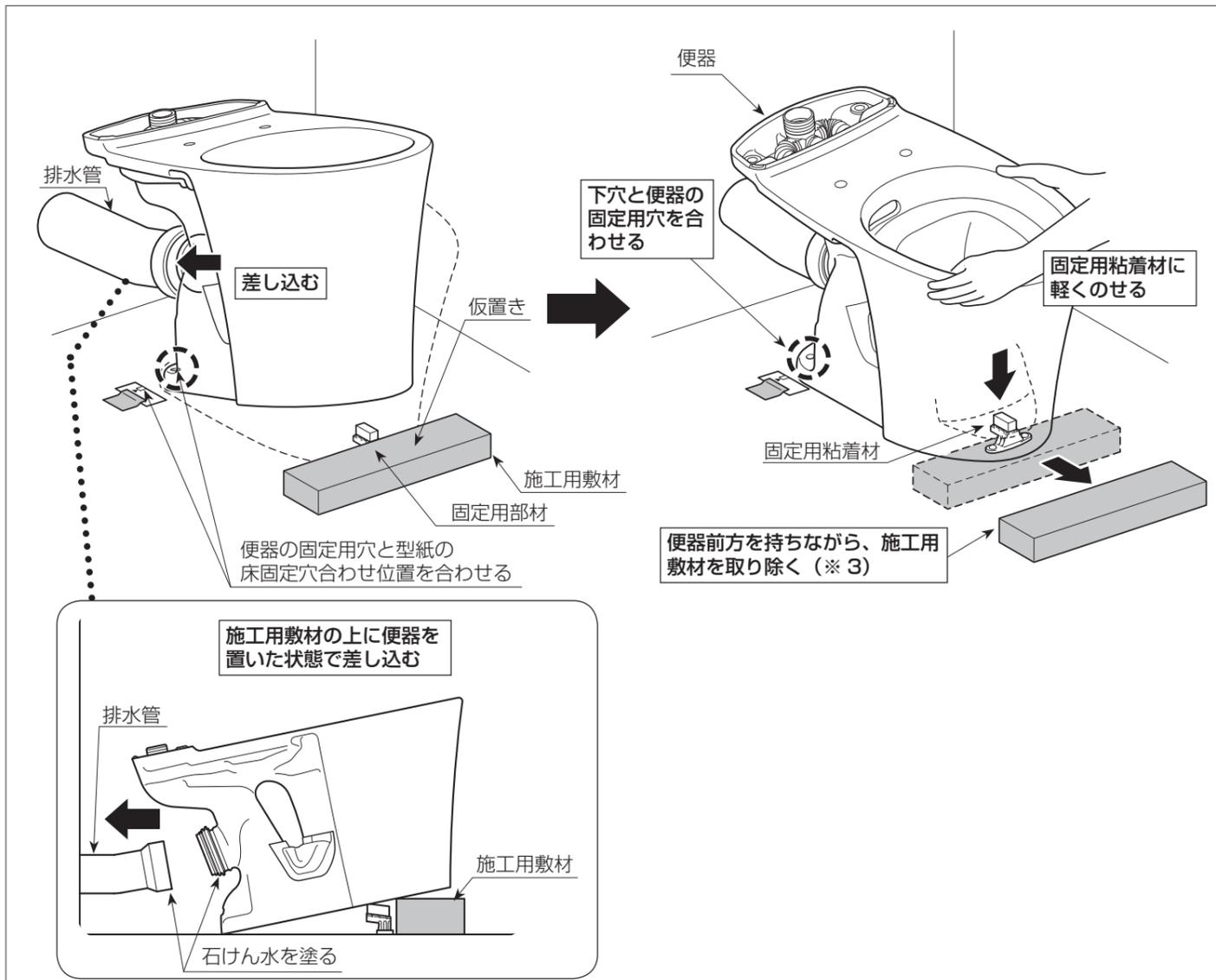
## 5 固定用部材の取付け

- (1) 便器固定用木ねじの下穴と型紙の穴を合わせます。
- (2) 型紙両端の「仮止め位置」を仮止めし、固定します。(※1)  
※市販のマスキングテープ等を使用し、床を傷つけないように注意してください。
- (3) 固定用部材の取付穴をけがきます。
- (4) 型紙の両端を残し、それ以外を切り取ります。(※2)
- (5) 固定部材用の下穴をあけ、固定用部材を固定用部材木ねじで固定します。  
※床がタイルまたはコンクリートの場合、下穴(径 11、深さ 55)をあけ、別売の AY ボルト (AY-23W) を使用します。
- (6) 固定用粘着材を固定用部材上面の中心に置きます。 **注意 6 参照** **注意 7 参照** **注意 8 参照**



## 6 排水管と便器との接続

- (1) 同梱されている施工用敷材を固定用部材の前に置きます。 **注意 9 参照** **参考 2 参照**
- (2) 固定用粘着材と便器が接触しないように便器を浮かせて移動し、施工用敷材の上に便器を仮置きします。
- (3) 便器の固定用穴が型紙の「床固定穴合わせ位置」に合うように便器排水口を排水管に差し込みます。  
※ 接続用パッキンの表面と排水管の内面に石けん水を塗ると接続が容易です。 **注意 10 参照**
- (4) 便器固定用木ねじの下穴と便器の固定用穴とが合っていることを確認します。
- (5) 便器前方を持ちながら、施工用敷材を取り除き(※3)、便器前方をゆっくり下します。



### 注意 6

固定用粘着材に水気や汚れが付かないようにしてください。

### 注意 7

固定用部材に切粉等のゴミが付着しないようにしてください。付着している場合はきれいに取り除いてください。  
※便器の固定不良の原因になります。

### 注意 8

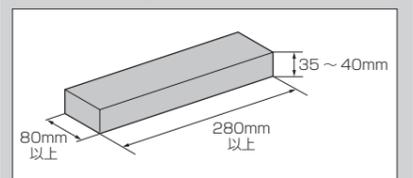
気温が低い場合、固定用粘着材が固くなる場合があります。暖めて柔らかくしてからご使用ください。  
※固定用粘着材は、直接お湯に入れないでください。入れる場合は、包装ごとビニール袋に入れて暖めてください。

### 注意 9

施工用敷材を使用しない場合、正しく施工できない可能性があります。  
※ 便器排水口を排水管へ差し込む際に、便器が固定用粘着材に接触して脱落する可能性があります。

### 参考 2

下記寸法であれば代用品でも対応可能です。  
※陶器や床を傷つけないように注意してください。

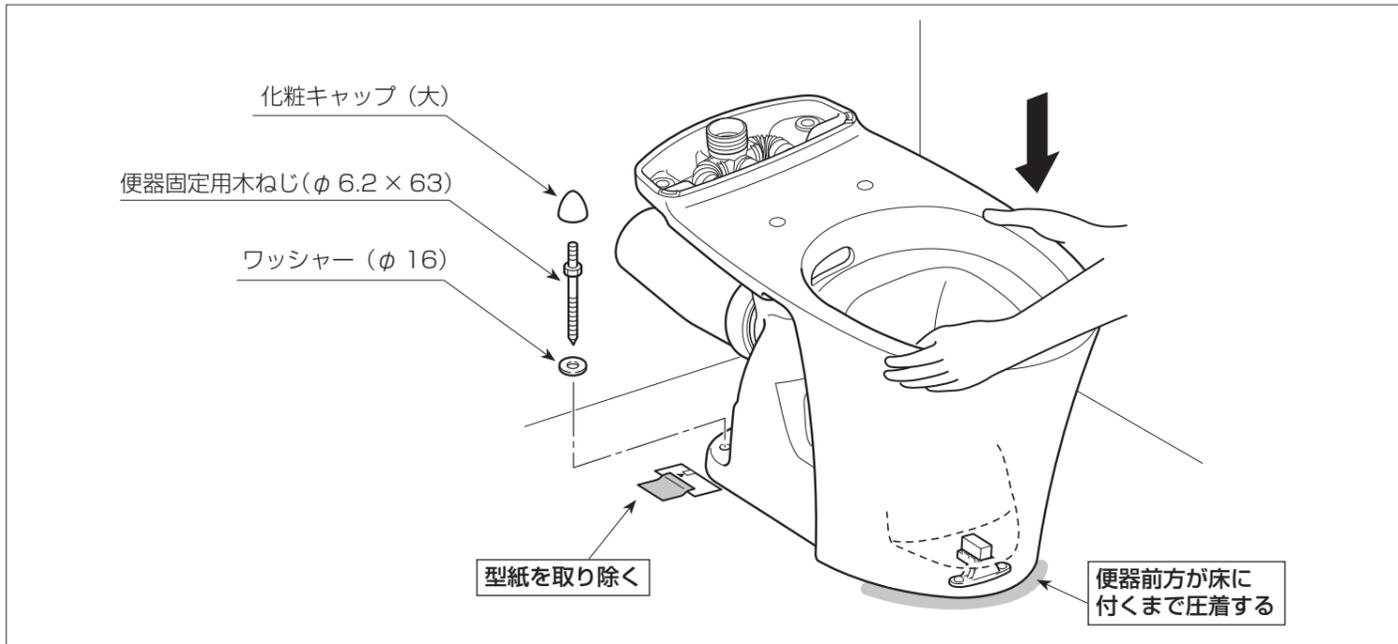


### 注意 10

排水管は便器排水口根元までしっかり差し込んでください。  
※水漏れの恐れがあります。

## 7 便器の取付け

- (1) 固定用粘着材を便器にしっかり圧着させるため、便器前方が床につくまで押し下げます。
- (2) 便器を便器固定用木ねじにて固定し、化粧キャップを取り付けます。**注意 11 参照**
- (3) 便器を軽くゆすり、固定されていることを確認します。
- (4) 便器取り付け後、型紙を取り除きます。



### 注意 11

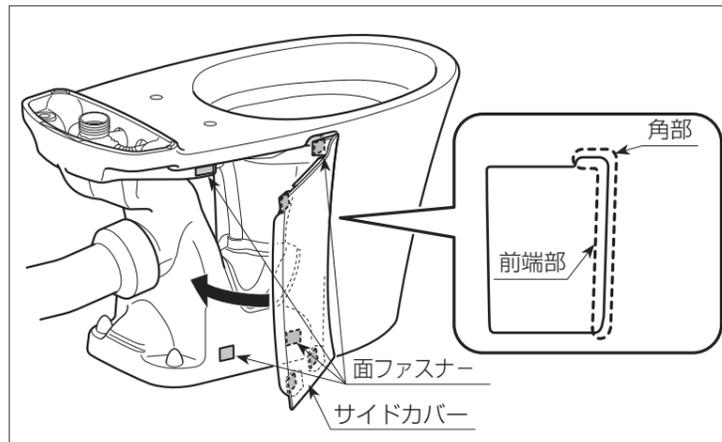
陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。  
※陶器が割れる恐れがあります。

## 8 タンクおよびシャワートイレの取付け

タンクおよびシャワートイレ同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

## 9 サイドカバーの取付け

- (1) サイドカバーの角部と前端面を、陶器の角部と側面ラインに合わせ、前側2箇所を面ファスナーに取り付けます。
- (2) そのままサイドカバーを後側2箇所の面ファスナーに取り付けます。最後にもう一度面ファスナー部をおさえ、外れないことを確認します。  
※ 反対側も同様に取り付けてください。



## 10 取付け後のご確認

- ・ 陶器表面に傷がないことをご確認ください。  
便器と金具とが接触すると、スジ状の線がつきます。  
万が一スジ状の線がついた場合には、# 1200 以上の耐水ペーパーやけんま材入りの洗剤などで軽くこすって除去してください。
- ・ 試運転後、便器鉢内に異物・汚れがないことをご確認ください。  
もらい錆などの異物付着や汚れの原因となる可能性があります。